

税金の使い方 国政も 市政も まちがってます

# いっしょに市政を変えたい

市民の声を聞かない 与党相乗り市長はもうイヤ



4月22日 市長選挙

長野でも栃木でも、そして千葉でも  
市民の力が政治を動かしました

# うのてい

市民のみならず、  
対話が必要です。み、  
うのていへの期待が  
高まっています。

いま、国も名古屋も税金の使い  
方が大問題となっています。市民の  
願いに反して自然・環境破壊の大型  
開発が生活より優先的にすすまら  
れ、医療・年金福祉などの社会保  
障が削られています。

生活不安、政治不安、雇用不安  
のたかまる中で、「こんな自民党に  
はまかせられない」という国民の  
声が長野や栃木にひびいて千葉で  
も市民派知事を誕生させました。  
4月11日名古屋も、政治を変  
えたい、変えよう、変えようとい  
う市民の期待が高まっています。

# うのていをさんとともに 愛と希望あふれる名古屋を

戦後の混乱の中で育った少年  
期が貧しい者へ目を向けた  
うのていさんは、昭和九年、福島県で生ま  
れました。お父さんは敗戦の三月月  
前、ビルで戦死しました。もし、昭  
和二十年三月の御前会議で、天皇が  
終戦を決断していれば、親父は死なな  
い。うのていさんは無念の唇をかみ  
しめました。  
お母さんは日本  
通運で働きなが  
ら、女手一つで二  
人の息子を必死で  
育てました。  
超人的な向学心と家族を愛し  
市民の幸せを真先に考える  
うのていさんは十六歳のとき肺結核で  
高校を中退し、二三歳で大学入学資  
格検定試験に挑戦して、東大に合  
格!。地元新聞でも報道されました。  
大学では、独学で仏語を習得し翻訳  
で学費と生活費を稼ぎ、ラテン語な  
ど十か国語をこな  
します。卒業論文  
は、貧困化理論に  
ついてでした。  
療養所で知り合  
い、苦労をともにした奥さんの裕子  
(ユウコ)さんは市長選出馬の意向を  
聞き悩みましたが、二百万の名古屋  
市民の心を考えているうのていさんの決  
意を受け止め玄關で、体にはげは気  
をつけてね」と言って送り出しました。

中堅企業で経営手腕を發揮  
市の財政再建も市民の立場で  
そして就職して名古屋へ、鋳物工場  
で真黒になつて働いている労働者の姿  
に、「この人たちのために役立ちたい  
と思いました。仕事をほかの人よりこ  
し、専務取締役になりました。仕事  
ができない人も生きる権利があると  
給与をきちんと保障し、倒産寸前の  
二つの関連会社を再建させました。  
その経営手腕は、名古屋市政の改革  
にも、必ず生かされます。  
うのていさんは破産寸前の名古屋市の  
財政状況にスバリこう提言しました。  
「行政改革をやるにしても、絶対必要  
な蛋白質とかバタシ、つまり市民生  
活に直結する予算は、財政がひび迫  
しても増やせ  
い肉の脂肪に  
相当する大型  
公共事業は思  
い違ってカッ  
すべきです。こ  
れは多くの市  
民の気持と同  
じです。  
「弱い人とともに歩む」が  
信条の誠実なクリスチャン  
熱心なカトリック  
信者でもあるうのて  
いさんは仕事のかたわら  
南山大学で学びまし  
た。担当教授は、うのて  
いさんを、六十代で 謙虚に  
学び、修士論文では、キ  
リスト教古典文学の中で最も難しい  
とされる人物の思想研究をやり遂げ、  
千五百年もの定説をひっくり返し  
ました。並ではない学生です。  
市民運動の先頭にも  
昨年までカトリック布池教会信徒会  
長をつとめ、有珠山噴火やトルコ大地  
震などの街頭募金や、サラ金で追わ

れる人を助け、ホームレス救援の炊き  
出しなど市民運動に二十年以上にも  
わたり献身的に参加してきました。  
現在はカトリック名古屋教区信徒  
協議会副会長として活動を続け、絶  
大な信望を得ています。  
「上質の文人性と評価される  
作家うのていをさん  
うのていさんは、本名は三本  
木國貴さんほんぎくによしさん  
多忙な日々の中でも十二冊の小説を  
執筆しました。地元新聞の文芸評論  
なども高  
く評価さ  
れています。  
好きな  
言葉、幸  
いなるかな  
平和をつく  
る人。その人は神の子と呼ばれるマ  
タイ伝、信条、常に自ら貧しいものと  
して、貧し者と共に歩む。  
平和・人権の先進都市なごやに  
うのていをさんと期待高まる  
うのていさんは、名古屋を平和と人権  
を尊重するまちにしたい。財政破た  
んをい止め市民参加の市政  
に革新し、社会的弱者のく  
らしを守り、福祉  
や医療を  
充実させ  
るために  
動きます。  
と語り、心境を表明、「今日  
の問題は何ぞだったか」とこ  
なり、明日の問題は何ぞ、勝  
つことなり、ウイクトル・ユゴ（

うのていの誠実であつたかい人柄  
行政手腕に市民の期待が広がっています

若尾 隆子(女優)  
文化も暮らしも、少しでもよくなるように  
するために、市民参加の市政が実現するこ  
を願っています。  
水田 珠枝(名古屋経済大学教授)  
誠実さと財政手腕を兼ね備えたうのてい  
さんを、借金だらけの名古屋市の財政をたて  
なおし、市民の生活と民主主義を守る市長と  
して、推せんします。  
若尾 真理子(声楽家)  
私たちの毎日の暮らしの中で不便さや不  
満を直接聞いて対処・改善しようとしてくれ  
る市長はうのていさんのほかに考えられませ  
ん自信を持って推せんします。  
浅井 薫(詩人)  
市民一人ひとりが、夢と希望を持てる市政  
こそ求められています。そのためには市民一  
人ひとりの意思をほんとうに大切に、市民  
こそ主人公という住民自治を徹底させるこ  
だと思ひます。うのていさんなら出来ます。  
西條 紀子(絵を描く主婦)  
うのていさんを誠実なお人柄で、福祉や  
教育の充実など、市民のための市政をやっ  
くさると信じ、支持します。  
春日 一彦  
(名古屋芸術大学講師・区政協力副委員長)  
「常に貧しい人とともに歩む」と言われるう  
のていさんは必ずや市民とともに歩まれる 庶民  
派の市長であると信じます。  
高橋 和島(作家、日本文芸家協会会員)  
氏の並外れた高邁な精神と明晰な頭脳、目  
標実現への破格の行動力、懐の深い闊達な人  
柄に長年、圧倒されています。  
うのていさんは、唯一の神のため「うのてい」の意味で  
フランス語をカタコト話したのです。クリスチャンで  
いながら、うのていさんは市長として、この人といえます。

わたしも推薦します 願不同

# 財政再建、くらしまでもる市政に変えよう

与党相乗り市長 大型開発すすめて、市民の福祉・くらし削る

## 名古屋は大赤字・大借金

大借金のおもと

万博・新空港などに税金投入  
財政破たん市民犠牲が

名古屋市の借金はいまや三兆三千億(四人世帯で六百万円余)。名古屋新世紀計画2010では徳山ダムや万博、新空港など、二十世紀型の大型開発が目白押し。



市民の声をシャットアウト  
財界が担いだ博覧会  
協会最高顧問の堀屋大氏は、今の計画は広さがない「イベントに市民の合意はなし」と発言。二十世紀型のトランザクション方式に大きな批判が集まっています。

市民の声無視

与党相乗り議会  
市民の願い切りすて

多くの市民が「税金の使い方は市民投票で」という条例制定を求め直接請求を行いました。しかし、与党と現市長は二月議会で「市長が作成した予算案を市民の代表で構成されている議会が議決した。市民投票は必要ない」と市民の声を切りすてました。



自然環境破壊

市民が一滴の水も使わない  
徳山ダムに六百億円も

自然と環境を破壊し、借金を増やすだけで、市民に必要な徳山ダムに税金を六百億円もつぎ込む現市長。

ダム建設はアメリカやヨーロッパでも見直しがすすみ長野の脱ダム宣言など日本でも時代の流れなっています。21世紀は次世代の子ども達のために豊かな自然を残すことが、行政の責任です。



市民生活犠牲

福祉・医療切りすて  
市民生活スタスタに

介護保険の利用料が高いために介護サービスの限度額の半分以上しか利用されいていません。介護保険料について全国で減免制度を設ける自治体が増えていますが、現市長は国の仕事だと冷たい態度です。

障害者や乳幼児医療無料制度を全廃で名古屋市だけ改善し、愛知県が補助金を復活させても態度を変えませんが、今でさえ少ない学童保育や障害者作業所への補助金まで削りました。



# 万博中止 大型公共事業 もうこの ていをは やります。 福祉・教育日本一の すみよい名古屋に 大型公共事業！ ムダづかい見直し

大型公共事業を見直し

名古屋市の財政の危機的状況は一日も放置できません。愛知万博は中止もしくは返上、中部国際空港と徳山ダムへの税金投入は見直し財政を立て直します。大型公共事業は、情報公開と市民参加を前提に、必要性や採算性、環境影響などの角度から事業評価制度で見直します。必要な場合は、住民投票制度を活用し、市民の声を市政に反映させます。

自然環境をまもり、災害に強いまちづくり  
東海豪雨で大きな被害が出ましたが、原因は治水対策の遅れです。情報を速く市民に伝えるとともに、市街地全体に保水機能を持たせる総合的な治水対策にあらためます。



わたしのお約束  
市民による  
市民のための市民自治を

市民に開かれた市政  
計画段階から実施過程までの情報を公開し、市民・職員参加を市政運営の基本にします。  
福祉・医療の充実  
医療費無料制度を所得制限なしで小学校入学まで広げ、障害者や老人についても元に戻します。

全学年に30人学級  
小学校一年生だけでなく全学年に30人学級を実現し、どの子どものびのび育つ教育をすすめます。  
消費税は3%に  
景気をさらに冷やす消費税の増税に反対し、3%にもとすように国に働きかけます。

## “景気回復”ここがポイント

市民生活重点の公共事業で  
中小企業の支援、福祉・くらしの充実へ  
与党相乗り市長がすすめる大企業向けの大型開発では、景気はよくなりません。特別養護老人ホームや市営住宅など市民生活重点の事業へ切りかえて、中小企業への仕事や雇用を増やすことこそ、景気回復につながります。こうすれば福祉など市民生活の充実にも結びつきます。



これが「簡素・身近・透明・迅速」の市政？  
東邦ガス土壌汚染を1カ月半もひた隠し  
「情報公開」といながら、東邦ガス工場跡地で高濃度の発がん物質の土壌汚染が明らかになったのに、市は1カ月半もひた隠しに。昨年も東しの工場排水でダイオキシンの事実を2カ月も公表しませんでした。

これって市民派？

東海豪雨 被災地では  
水没した天白区野並では、原因究明を求める住民の前に一回も姿を見せない与党相乗り市長。住民の怒りは増すばかり。  
ゴミ収集では  
ゴミ減量を自慢する与党相乗り市長。ゴミ減量は藤前干潟を守る運動を通じ、

市民が努力してきた結果です。市民に十分な説明もなく、混乱と負担をおつけしています。  
2万円パーティー  
ホテルで財界と一体となって2万円パーティーを開き、資金集めた与党相乗り市長。「市民感覚からは程遠い。裏切られた思い」の声が...